

群馬菱の実会だより

21世紀の年頭にあたり

群馬菱の実会 会長

伊沢 昭一郎

新年明けまして おめでとう御座います。

会員の皆様も、新しい年を迎え、ますます張り切っておられることと存じます。

さて、昨今の当会の活動を振り返って見ますと、当初には予定してなかったことが、次々と行われています。例を挙げると 1. パソコン教室 2. ゴルフ愛好会 3. 赤城俱楽部の設置等々。これらは会員数の急激な増加・多様なニーズによるものだと思います。当会の目的には、政治・経済的要素はないので、政治理念の衝突や景気の好不況には、ほとんど影響されませんが「親睦と啓発」も世の中の動きにつれて変化していくのかも知れません。単に世間の流行に合わせるだけでなく、常に創意と工夫を持って会を運営し、会員各位の生活に少しでもお役に立ち又はくらしの潤いとなればと思っています。

御支援方よろしくお願ひ申し上げます。

(新しい企画・活動に関する活発なご提案をお待ちしています)

最後に、田中知事の発言から思いついた言葉——今年は皆さん「たおやかに」いきましょう！

群馬菱の実会の更なる発展を！

MELON群馬 執行委員長

対比地 弘志

菱の実会の大先輩の皆様、あけましておめでとうございます。昨年8月より執行委員長になりました対比地です。よろしくお願ひ申し上げます。

日頃は、労働組合の活動に対しご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。先輩の皆様の大変なご支援によりまして一昨年、尾島町議に送り出して頂いた「岩松町議」も厚生環境常任委員会に所属し、私たちの代表として頑張って頂いております。引き続き先輩の皆様におかれましても地域での困りごとや日常的な困りごとなど、尾島町在住に関わらず気楽にお声をかけて頂きますとともに、変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願ひ申し上げます。

さて、21世紀を迎える、先輩達が築いて頂いた群馬支部も創設40周年を迎えることになりました。大変厳しい事業環境ではありますが、この群馬製作所を更に発展させるため労使一体となり努力していきたいと考えております。先輩の皆様も今後とも三菱製品をご愛用頂きますようお願ひ致します。

最後に、群馬菱の実会の更なる発展をお祈り申し上げご挨拶とさせて頂きます。

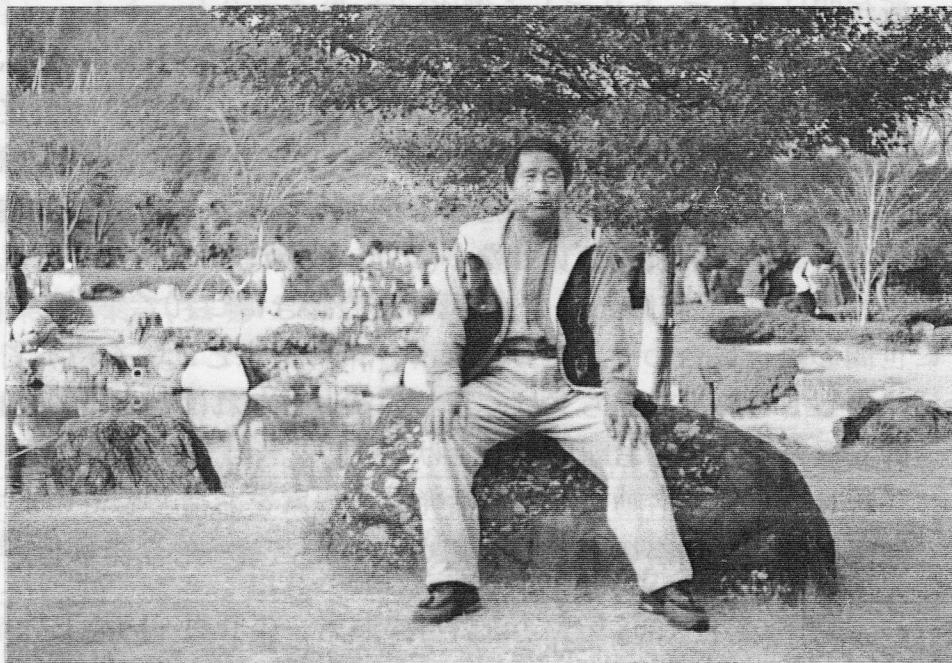
新会員紹介

飯塚 勝さん (平成12年11月20日定年)

〒370-0406 尾島町前小屋 1825-1 電話 0276-52-2604

2000年11月20日付にて、定年退職いたしました。12月より群馬菱の実会に入会させていただく事になりましたので、宜しくお願ひ申し上げます。昭和38年入社、群馬製作所生産技術課 公務係、設備技術課、菱電不動産(約1年出向)25年間、三菱電機北関東支社(2000年4月より関越支社)総務課に12年間合わせて37年間勤務して参りました。その間、諸先輩方の皆様に公私にわたり格別のご指導ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

今後は健康に留意し会社生活の経験を生かし地域活動、趣味、家族孝行をしながら有意義な人生を送れるよう努力して参りたいと思いますので、菱の実の諸先輩の皆様方に今後共よろしくご指導お願ひ申し上げます。



会員投稿

『語り継ぐ記憶』(その1)

太田市宝町 水戸 友康

いさか旧聞に属するが、昨年暮れの日本経済新聞に20回に亘り「語り継ぐ記憶」<スポーツの20世紀>という連載記事が載ったのを記憶されている方もいるだろう。

各回の見出しを並べただけでも、胸躍り、血が騒ぎ、懐かしさに涙ぐむ人が多かったに違いない。

即ち、①待望のヒーロ「長嶋」—全力プレーにくぎ付け ②人見絹枝、女性の時代 先駆—24年の生涯、全力疾走で ③1943年「最期」の早慶戦—覚悟の徴兵、野球が支え ④大下・川上の「青赤バット」—空前の野球ブーム到来 ⑤円谷・アベベ「マラソン人生」—燃え尽きた求道者と哲人

⑥裸一貫の時代 ボクサー魂—19歳原田、世界の頂点に ⑦太田幸司 アイドルの誕生—延長18回雜念なき262球 ⑧怪物神話 ハイセイコー地方演出、ダービーの夢 ⑨高見山になったジェシー—相撲道を説く「元祖」⑩札幌の空 3人の鳥人—「護送船団」巻き返し結実 ⑪「世界の王」国民熱狂—夢の756号に一喜一憂 ⑫「空白の1日」球界支配—巨人「脱退」切り札に強行

⑬尾崎の革命 青木の開拓—競い合い、己の頂点極め ⑭「東洋の魔女」企業と蜜月—人気・実力、男子も躍進 ⑮輝いた冒険者 植村・堀江—「単純」な挑戦心で偉業 ⑯女性の夢海外で開花—岡本・伊達、気負わず挑戦 ⑰F1 疾駆 ホンダとセナ ハイテク縦横無尽に ⑱NOMO メジャーの扉—夢舞台、実力でつかむ ⑲プロレス 遠い理想郷—「最強」叫び離合集散 ⑳「悲願」支えたドーハの思い—日本サッカー、実りある10年—である。

どの項目を見ても「ああ、あれか、のことか、あれは憶えている、あれは忘れられない、、、」と誰でも思うことだろうし、そこにスポーツの奥深さ、素晴らしさ、頂点を極める者の試練と挫折の生きざまを見ることができ、懐かしい思い出と共に永遠に心に残る自らの青春を重ね合わせる人も多いだろう。スポーツの思い出は、タイムカプセルにとじこめたように古びない。アスリートの輝きはある意味で一瞬であるかも知れないが、その一瞬の輝きを共有することがスポーツの本質かも知れない。

このシリーズの第一回の冒頭にこう記されている。

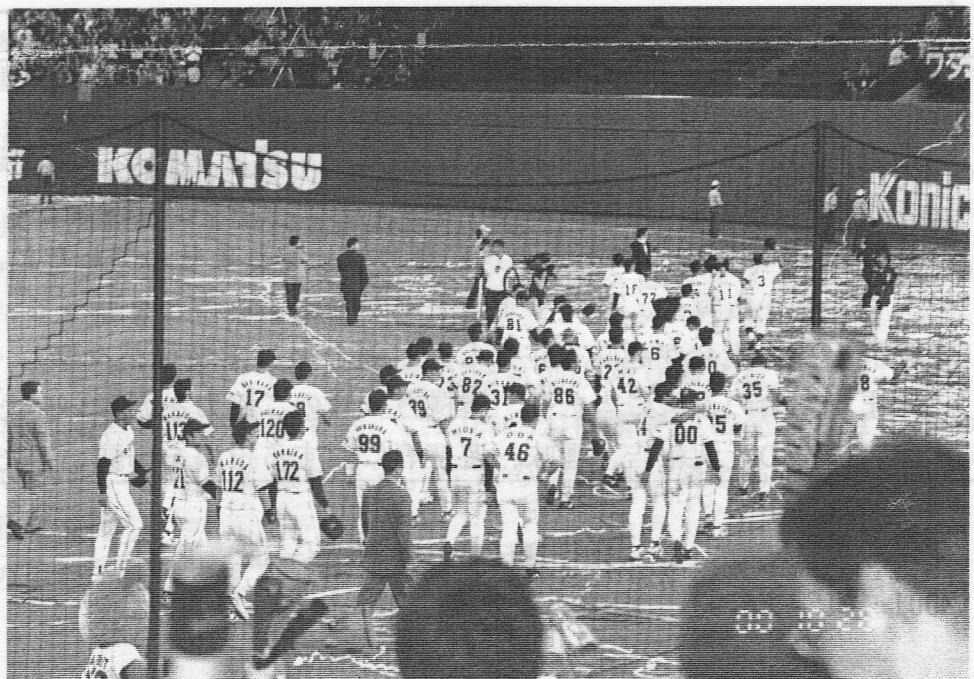
『20世紀は「スポーツの世紀」でもあった。外来の文化だったスポーツは日本にも根を下ろし、やがて全身全霊を傾ける選手達の姿に、人々は涙し、勇気づけられた。それらは新世紀へと語り継ぐべき、貴重な共有財産といえる。そんな中から二十の人物と事件を選んだ。』

ところで、私にはこの「語り継ぐ20世紀」の主役ともいるべき長嶋と王に関し特別の思い出がある。第1回目はついこの間の長嶋監督、第2回目は遠い昔の王選手に分けて、自慢らしいと非難されるのを覚悟の上で敢えて記してみたい。

先ず、昨年「ミレニアムー世紀のON対決」といわれて話題を集めた巨人対ダイエーの日本シリーズで、長嶋監督の胴上げシーンを目の前で見ることが出来た幸運である。

素人の予想もたまには当たるらしく、第6戦で巨人の優勝決定と狙いを定めて入手した2000年10月28日(土)の東京ドームの1塁ベースの斜め後ろで清原や仁志の顔が見え、交替時には松井や高橋と握手ができそうな願ってもない好位置で娘と一緒に観戦出来る幸運に恵まれた。試合はご承知の通り巨人の楽勝に終わったが、矢張り目の前で見る胴上げの瞬間は何ともいえぬ興奮と感動がある。試合が決まりかけた後半はスタンドはもうお祭り騒ぎで試合などどうでもよくなってしまっていた。待望の長嶋監督の胴上げシーンを写真に撮ろうとしたら前の椅子によそから入り込んだ奴が立ち上がっていて撮れない、仕方なく自分の椅子に立とうと思ったらここにも既によその奴が立って騒いでいるという目茶苦茶の興奮状態で、結局無理して撮った胴上げの右半分には前の奴の頭が写っているという次第。場内1周の時はペナントが意外に大きいのに驚き、全選手の喜び溢れる顔、顔、顔が光り輝いて見え、喜びが伝わってくるようでとても素晴らしいかった。そしてMVPに輝いた松井選手のオーロラビジョンに写るさわやかな顔とコメントがとても素晴らしい画面を写真に撮ったことと、オペラグラスで覗いた3塁ベンチの王監督の悔しいというよりは何ともいえぬ淋しそうな顔がとても印象に残り「世紀の決戦」(監督が試合をするのでもないのでこの表現は嫌いだが)の勝者と敗者の明暗分ける姿を見て、興奮して騒いでいる娘とは逆に20世紀最後の記念すべきシーンを目の当たりにできた幸運に感謝しながらも複雑な気持ちでドームを後にした。

(続く)



◆おしらせ◆

1. 1月の囲碁愛好会

- ◎例 会：1月22日(月) 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部
 ◎講習会：1月24日(水) 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部

2. 1月のグラウンドゴルフ月例会

- ◎日 時：1月29日(月) 9:30～ ◎会場：利根グラウンドゴルフ場

3. パソコンサークル

- ◎日 時：2月5日(月) 14:00～16:00
 ◎会 場：馬電研修センター、または労組事務所

4. 2月のカラオケ月例会

- ◎日 時：2月5日(月) 17:00～
 ◎会 場：睦荘YOU遊ホール

◎申込：愛好会役員(長嶺 元さん Tel0276-38-0685) 1月29日(月)までに申込み

5. 次回の幹事会・編集委員会(会場：組合会議室)

- ◎編集委員会 1月29日(月) 11:00～
 ◎幹事会 2月 5日(月) 16:00～

6. パソコンサークル活動報告<No.5>

開催日	場所	出席者	学習内容
12/4(月)	組合事務所	13人	各自が「2001年賀状」最終版提示、説明、相互評価、作成上のノウハウ意見交換。

★サークル活動も8回終了。「Word」操作の一次成果目標とした「2001年賀状作成」に対し、9割の人が年賀状を完成させ、第一次目標は達成した。

訃報

橋本源次さん(尾島町安養寺 享年85歳)は1月3日病気のため、ご逝去されました。
 ご冥福をお祈りするとともに、お知らせいたします。

編集後記

- ◎会員の皆様明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、ますますご健勝でありますよう、ご祈念申し上げます。
- ◎2000年は国内外共あまり良い年では、有りませんでしたね。今年の干支は「巳」年、早く冬眠から覚め、春から不景気風が好転することを願っています。
- ◎群馬菱の実会が趣味を生かした、遊びと、学習に益々楽しくなるよう幹事一同頑張ります。会の運営に当たり、皆様方一層のご協力を御願いいたします。
- ◎皆様方の近況報告、趣味、遊び等に関する投稿を御願いいたします (新島)

発 行

発行責任者 伊沢 昭一郎

三菱電機労働組合群馬支部

2001-1-15 No.93 編集「菱の実会だより」編集委員会

Tel 0276-52-3874